

2022年4月26日  
株式会社メガネトップ

## 眼鏡市場が小学館と共同制作

### 『目に関する情報冊子』無料配布の第一弾！

～ 2022年4月28日より、全国の「眼鏡市場」1,007店舗にて配布開始 ～

メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売、その他関連商品の販売を行う「眼鏡市場」を全国展開する株式会社メガネトップ（所在地：静岡県静岡市、代表取締役社長：富澤昌宏）は、一人ひとりに最適なメガネを提案するアイケアの一環として、目に関する正しい情報をお客様へお届けすることを目的とし、眼科医（アイリスター麻布クリニック院長 西之原美樹）監修のもと、分かり易い表現で子どもから大人まで親しめる本を数多く出版する「小学館ライフスタイル・ブランドスタジオ」と共同で、全5回に分けて情報冊子を制作します。

第一弾は、健康診断のシーズンにあわせ『子どもの「見えない、見えにくい」を解消する』ための情報をまとめ、2022年4月28日より全国の「眼鏡市場」店舗にて希望者へ無料配布を開始します。

子どもの「見えない、見えにくい」を解消する

vol.1  
MEGANE ICHIBA

親の「気づき」が大事です  
子どもの視力低下を早期発見！

目についての  
さまざまな疑問に答えます  
そこが知りたい  
Q&A

視力が低下しにくい  
一日の過ごし方とは？

そもそも  
「視力が悪い」とは  
どういうこと？

目に良い  
SOUP

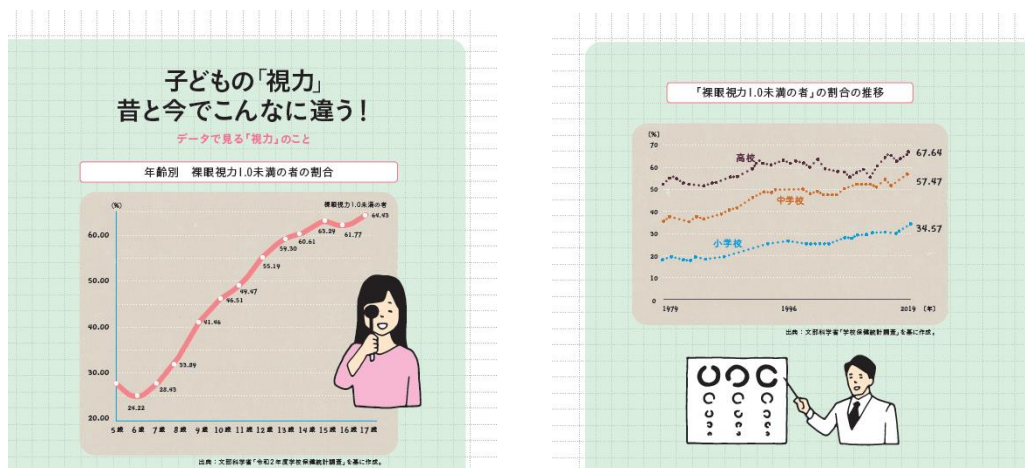
文字探して  
遊ぼう！



## ■裸眼視力 1.0 未満の小学生の割合は、40 年で約 1.5 倍に増加

裸眼視力 1.0 未満の子どもの割合は、小学校入学から年齢が高くなるにつれて増加傾向にあり、1979 年と 2019 年を比較すると、裸眼視力 1.0 未満の子どもの割合は小学生で約 1.5 倍になっています。

一因として、学校や塾のオンライン化など、子どもを取り巻く環境の変化が挙げられます。



(平成 30 年度学校保健統計 (学校保健統計調査報告書))

## ■全 12 頁の構成で『子どもの「見えない、見えにくい」を解消する』

第一弾は『子どもの「見えない、見えにくい」を解消する』をテーマに、子どもの視力低下早期発見のサイン、「視力が悪い」とはどういうことか？など、全 12 頁にわたって解説します。

子どもは「ものが見えにくい」ことをうまく表現できないため、保護者の方へ向けたチェック項目を掲載。また、そもそも「視力が悪い」とはどういう事か、見える仕組み、視力の良い人と悪い人の見え方の特徴などを学ぶことができ、目に関する「なぜ？」が解決できる内容です。



## ■冊子の無料配布は、様々なテーマで全 5 回を予定

今後も、一人ひとりに最適なメガネを提案するアイケアの一環として、目に関する正しい情報をお客様へお届けするため、全 5 回に分けて冊子を制作、全国の「眼鏡市場」店舗にて無料配布を予定しています。



医療監修

西之原 美樹 先生

アイリスター麻布クリニック院長。

東京大学附属病院で研修後、東京通信病院の勤務などを経て、  
2004年開業。

1万人以上のスポーツ選手の視力機能の向上に携わっている。

### 【会社概要】

社名 株式会社メガネトップ  
所在地 静岡市葵区伝馬町8番地の6 トップセンタービル8F  
代表者 代表取締役社長 冨澤昌宏  
設立年月 1980年5月  
資本金 100百万円（2022年3月末時点）  
事業内容 メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売、その他関連商品の販売  
店舗数 国内1,022店舗、海外17店舗（メガネトップグループ合計、2022年3月末時点）  
従業員数 4,797人（2022年3月末時点）  
コーポレートサイト <https://www.meganetop.co.jp/>  
「眼鏡市場」ウェブサイト <https://www.meganeichiba.jp/>  
お客様からのお問合せ先 株式会社メガネトップ お客様相談室  
[フリーコール：0120-818-828](tel:0120-818-828)（受付時間 9:00～18:00）

\* 「眼鏡市場」「ALOOK（アルク）」「レンズスタイル」「レンズダイレクト」は当社のグループ店舗です

<本件に関する報道関係者からの問い合わせ先>

メガネトップ広報事務局 担当：瀬名波（セナハ）

携帯：090-7029-0342

TEL：054-275-5014

E-mail：[senaha\\_k@meganetop.co.jp](mailto:senaha_k@meganetop.co.jp)